

第五回 基地周辺地区安全対策協議会議事録

日時：平成 19 年 12 月 7 日(金)14:00～15:20

場所：横須賀市役所本庁舎 3 階 特別会議室

司会：秋本基地対策課長

それでは定刻になりましたのでただ今から、第 5 回基地周辺地区安全対策協議会を開きたいと思います。私は、本協議会の事務局であります企画調整部基地対策課長の秋本と申します。よろしくお願いいたします。

まず、机上配布してある資料について確認したいと思います。第 5 回基地周辺地区安全対策協議会という 2 枚の次第です。その次に米海軍横須賀基地の方から配られております本日のレジュメ。それとこれまでの在日米海軍の対応についてという参考の紙。それと 12 月 2 日に起きました事件関係の新聞記事。よろしいでしょうか。

本日の協議会の出席者は過半数に達しておりますので、本協議会第 4 条第 2 項の規定により、本日の会議は成立していることを併せてご報告申し上げます。

それでは開会にあたりまして、本協議会の委員長であります杉本副市長からご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

委員長：杉本副市長

それでは第 5 回に基地周辺地区安全対策協議会を開催したいと思います。

本日は年末にも関わらず、大変お忙しい中をご出席いただきまして本当にご苦勞様でございます。皆様もすでに新聞報道等によりご承知のことと思いますが、去る 12 月 2 日に米海軍横須賀基地のブルーリッジ乗組員による傷害被疑事件が発生いたしました。今回の事件は、一步間違えれば昨年 1 月に発生いたしましたあの痛ましい殺人事件と同様な結果になっていたことも考えられますので、そういった意味においても、この無抵抗な女性に怪我を負わせたという大変悪質な事件であると思っております。つきましてはこの件を受け副委員長とも相談の上、この事件と併せて今後の対策について協議するため、本日の基地周辺地区安全対策協議会を、急遽、開催をさせていただいたとございます。これまで当協議会において皆様が真剣にこの基地周辺地区の安全対策について協議をしていただき、その結果として一定の対策を取った結果としての基地周辺地区の安全対策という点では街も随分静かになってきたという声もあり、それなりの成果があったものと思っていた矢先でもございました。それを考えると大変残念でなりません。

本日は米海軍横須賀基地司令官ウィード大佐に出席いただき、事件の概要と対策について説明を受け、今後の基地周辺地区の安全対策についてご協議をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは早速ですが、次第に基づいて議事に移らせていただきたいと思います。今日の

議事は2点ございます。まず1として、米兵が被疑者となっている平成19年12月2日の傷害事件について。2として、今後の基地周辺地区の安全対策について。この2項目について皆様の審議をお願いしたいと思っております。

まず12月2日に発生をいたしましたブルーリッジ乗組員による傷害被疑事件について、その概要を事務局に説明を求めたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局：秋本基地対策課長

それでは私の方から説明させていただきます。次第の2枚目をご覧ください。

まず事件の概要でございますが、平成19年12月2日、午前0時46分頃、横須賀市日の出町3丁目13番地先の路上を帰宅中の2名の女性がブルーリッジ乗組員に後ろから突然殴りかかれ、Bさんにいたっては付近の駐車場に連れ込まれ顔面等を殴るなどの暴行を加えたということでございます。両名とも2週間程度の加療が必要と聞いております。

同日午前8時、南関東防衛局業務課より基地対策課の担当の者に一報がございました。この一報というのは米兵が犯罪を犯したらしいという一報でございます。早速私の方にも一報がございまして、それから内容について神奈川県等の関係機関と連絡を取って事実関係について調査をいたしました。今ご説明した事件の概要に近い内容が10時頃判明いたしましたので早速市長以下、市の幹部に報告したところでございます。

当日午後5時30分頃、在日米海軍司令官ケリー少将から、市長あてに事件の概要及び遺憾の意が伝えられたところでございます。ケリー少将はアメリカ出張中のことでございました。

翌日12月3日午前11時、今日ご出席いただいております横須賀基地司令官ウィード大佐、また被疑者の上司でありますブルーリッジ艦長のラウスマン大佐が本市を訪れ謝罪、今後の対策について報告があったところでございます。

最後に今回の事件を重く見ました委員長及び副委員長協議の上、本日の会議を開催することになりましたということでございます。以上です。

委員長：杉本副市長

ご苦労様でございます。本日は米海軍横須賀基地司令官のウィード大佐に出席をいただいております。そこで事件に関連してこれまでの米海軍側が調査した事件との概要、それと今後の米海軍の対応策について説明をしていただきたいと思います。ウィード司令官よろしく願いいたします。

ウィード米海軍横須賀基地司令官

事件の概要についてお話しさせていただく前に、このように悲惨な事件を起こしてしまったこと、そして本当にもっと悲惨な事になりかねなかった事件であったということに対してまず深くお詫び申し上げます。このように調和を乱す許されない行動を起こしてしま

ったことを大変遺憾に思いますとともに、強くこういったことを防ぐべく今後の手段を講じていきたいと思っております。私が存じ上げている限りの事実を述べさせていただきますが、12月2日、日本人の女性に暴行を加えたということでブルーリッジの2等海曹が警察に逮捕されました。今なお警察で尋問を受けております。私といたしましては横須賀警察署に一刻も早い事件の解決のために全面的に協力させていただき所存でおります。調査が終わり次第一刻も早くきちっとした解決がみられることを祈っておりますし、横須賀基地そして第7艦隊も含めてですが兵隊のこうした事件を起こす行為は決して許されるものではありません。兵隊たちが自分の自由時間にふさわしくない行動を、許されない行動を起こしたことになりますら彼ら自身がその責任をとるべきですし、それなりの処罰を軍として受けさせたいと思っております。2名の日本人の女性の方が怪我をされたということは大変申し訳なく、彼女達が少しでも早く回復してほしいと、また地域の安全を保つためにはできることは何でもさせていただきたいと思っております。合衆国といたしましても犯罪を非常に重大に受け止め、そしてそれなりの判決が下った際には、ユニフォームを着ている以上は軍の服務規程というものがありますから、そうしたものを破った人間に対してはきちっとした対応をさせていただきことになっております。

小林委員

それではお手元にお配りしております、「地域安全安心プログラム」という今後このようなことをしたいということをお話させていただきます。

ウィード米海軍横須賀基地司令官

今日の内容といたしましては、今後私たちがやっていく上での基礎となっている重点事項、そしてすぐに実行できる対策について、このような犯罪が2度と起きないように、また今後長期的にやっていきたいという対策3点に基づいております。

3ページ目の重点事項の方に移ります。この重点事項としては3本柱になっておりまして、日本での生活と文化について、そして地域の安全安心プログラムについて、飲酒に対する責任という3点です。日米の協調関係のみならず横須賀市そして横須賀の海上自衛隊からのご支援、今後もとても重要なものとしてとらえておりますので、まずは教育というものを真剣にやっていきたいと考えております。こうした協調関係をお互いに協力しあっていくということを非常に大事な事ととらえておりますので、同じように教育そのものを私自身個人的にも真剣にとらえておりますので、自ら教育の場に出て行って日本についての独特の日本というものについて説明しております。新着任者の教育の一環としてやっているのですが、それが終わってから小さなグループに分けてそれぞれに対して日本で、日本の一市民として生活するにはどうあるべきか、どういった責任を持った行動をとるべきかというのを説明しております。それが終わりますと必ず質問時間を設けまして彼らが私が申したことをきちっと理解しているかを確認し、さらに彼らの方からも質問を受け

ちゃんと理解を求めてやってきております。この特別な小グループ制のセッションは7月に始めたものですが、好意的に参加者から評価を得てまして、それ以来本町地区では事件がなかったということはいれしく思います。今までやってきたことを踏まえたと、とても有意義だということで、この日本での生活及び文化については新着任者だけではなく、横須賀基地に生活し職を持っている者全ての人間に、同様な説明会をするという方向でいくつもりでございます。また基地内のテレビ・新聞・広報活動を通じてもお互いにどのように接しあうべきかとか、日本の文化・生活の説明を機会あるごとに放送しております。

次の点ですけれども地域安全安心プログラムというタイトルを日本語でつけましたけれども、今現在本町地区で行われていることを市のご協力、合意を得た上でもっと広い範囲に広げたいと考えております。これは7月から始めているものですが、どういうものかと言いますと下士官の位の中で下から7番目以上になった人達、比較的上の位になったリーダークラスの人達に実際に本町の外へ出て行ってもらって地域の人達と話し合ったり彼らが何か問題がないか実際に直にお話しを聞いたりして地域の方達にも軍に対してはいつでも自由なものが言えるし、地域のことを米海軍として横須賀基地司令部としても非常に大事に思っているということをお分かっていただくという意味でも実行しております。これは夜の夜回りとはまた違います。指導的立場にある者が若い兵隊達を見張るという目的よりもむしろ地域の方達が米軍に対してより近い近親感を持っていただく信頼しあえる仲になっていこうという試みのもとに始めました。

次は飲酒に対する責任についてですが、これはもう常に口をすっぱくして言っていることですが、時としてはっきりと彼らが理解をしていることを確認しております。これからクリスマスの休暇に入りますので今は兵隊達とにかく飲酒量に気を付けるように申しております。もう1つ強調していることはアルコールに逃げてはいけないんだと、もっと大事なものがあるということに気づかせようということです。尊敬とか尊重とかいう日本語に当たると思いますが、日本の文化の中ではとても重要な位置を占めるものだと思います。それを兵隊達にもまず自分を自ら自尊心を持てと、家族そして地域の人達を敬いなさいということを常々強調しております。

次のページで直ちに実行できる対策に移りたいと思います。まず日曜日に事件のことを聞いて直ちに下士官のトップを集めて会合を開くという指示を出しました。この内容は謝罪にこちらに来た時に副市長の杉本さんともお話ししたことです。この会議の席上で効果的にどういった対策を取ったらいいだろうかということも話し合いました。この対策というのは現役の兵隊達だけではなく、もちろん家族、そして基地の訪問者、そして契約の民間人にも当然適用されます。地域安全安心プログラムということについても話し合いました。7月以来やってきた結果を踏まえて本町では事件・事故がなかった。このプログラムに基づいて今現在は55名の現役の兵隊達が基地外に出ておりますけれども、今後は70名、現役の兵隊、そして民間人とか現役を退役して民間人になった人達を募って参加させたいと思っております。横須賀市とそして海上自衛隊とは強い絆で結ばれておりますが、この

プログラム自体も横須賀市、海上自衛隊ともにやっていきたいと思えます。これは日米の合同の努力によって犯罪を未然に防ぎ地域を安全にすることができるのだと思えます。これはあくまでも市のご賛同を得てから、ご協力を得なくてはできないことですが今現在やっている地域から馬堀海岸から吉井地区またはその他の地区、市がそのようにしたほうがいいとおっしゃっていただけるような場所までも広げていきたいと思っております。ゲートから出て行く基地の人間に対して、正門、そして三笠ゲート、そしてダイエーゲートとありますけれども、それぞれのゲートに例えば条例で決まった路上禁煙地区で喫煙をしないようにとか、気を付けるべきことを看板のような物を作ってもう一度注意を喚起したいと思えます。安全を確保する上で大事なことは市民の皆さんが基地に対して通信手段を持つということが重要なことだと思いますので、基地が是非とも注目しなくてはならないことがありましたらここに掲げてある電話番号に直ちにお電話いただきたいと思えます。私が最も気にかけておりますのは、横須賀市の安全、健全なる横須賀市ということですので私自身が皆さんにとって常に対応できる立場にありたいと思っております。たとどこにしようが何時であろうということ。直ちに実行できるこういった対策で決して十分だとは考えておりませんので、今後はまた長期的にも対策を実行していきたいと考えておりますので次のページをご覧ください。

当直士官の引継ぎ制度の見直しとありますが、これはどういうことかといいますと、見直しを今、各部隊の下士官の最高責任者に対していつていることですが、例えば深夜に酔っ払って帰ってきた兵隊がいたということとその日のその夜の当直の士官が受けてそれをレポートに書きました。そのレポートに書いた結果を踏まえて、その次に引き継いだ当直士官はそれに対して何らかのそれなりの手段を講じなくてはならない、というふうに今後もしていきたいと考えております。この見直し制度自体は重要なものでして酔っ払って戻って来た兵隊がいたらその兵隊がさらに問題を起こさないようにするという未然に事件を防ぐという意味で役に立つものではあります。もう1つ考えていることは兵隊達に外へ出た時にどう振舞うべきかということを出るときに必ず思い起こさせるような何か簡単に出来る手段を考えたいと思っております。まずは横須賀市民としてどうあるべきか、日本で住むにはどうあるべきかといったことを簡単に要約したカードを持たせたいと考えております。

社会奉仕活動の一環となりますけれども、公園等に見苦しい落書きがあるものは私達がいかにその街の健全さを重要視しているかということを理解していただく意味でも落書き消しといったようなこともしたいと思っております。

次はビデオの作成をしたいと考えておりますけれども、礼儀を尊び、そして尊敬する心を持つというような教育ビデオですが、女性に暴行を振るうというようなことは、そういったことに反することです。そのビデオの中で兵隊達自身に参加してもらって人を尊厳を持って尊敬の心を持って人には接しなくてはならないと、女性に暴行をはたらいてはならないといったようなことを話し合わせたビデオを作りたいと思っております。

最後のホットラインの設置ですが、これは先ほど申し上げた電話番号のみならず市民の

皆さんがとにかく日本語でどんな問題でも、例えば近隣の騒音とかゴミの分別の問題だとかいったようなことを気軽にこちらにご連絡いただけるようなホットラインを設置したいと考えております。早い段階でそういった問題を解決することによって12月2日に起きたような事件を少しでも防げればと考えております。本当にこの度は1歩間違えば悲惨な事件になりかねない事件を起こしてしまいましたことを心からお詫びいたしますとともに今後もこのようなことのないように最善の努力をさせていただく所存です。

委員長：杉本副市長

どうもありがとうございました。ただいまウィード司令官から米海軍が調査した事件の概要、それと地域の安全安心プログラムの中身、特に3点について今いろいろと対策等について説明がございました。1点が重点事項、2点目に付いては直ちに実行できる対策、3点目として長期的計画に基づいての実行する対策。これらについて今いろいろ説明なりお話がございました。この件につきましてまずご質問、ご意見等がございましたらご発言をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

島田委員

被害に遭われたご婦人お2人のその後の経過は、1人の方だいぶ殴られているということですが、どんな状況ですか。それに伴って病院の費用だとか米軍側が全部負担するのか防衛施設庁とかそういうところがやるのか、市がやるのかお尋ねしたい。

委員長：杉本副市長

今のご質問はですね、2人の女性が怪我を負って、その怪我の程度はどうだろうかということと、それに伴う治療費は市で負担するのか米軍で負担するのかそれとも防衛省で負担するのか、こういった趣旨のご質問でございますね。これにつきまして今現在分かっている怪我の状況、費用負担のあり方等々について。

ウィード米海軍横須賀基地司令官

後頭部を殴られたということで、あざとかこぶとかいうことで、幸い生命に危険が及ぶような怪我ではありませんでした。日本政府との間での約束条項もありまして、怪我をした場合にはその治療費に対しては補償されることになっております。この事件深刻に受け止めておりますので、ブルーリッジの方からも直接、直にこの2人の女性に対してお詫びに伺っております。

委員長：杉本副市長

今、ウィード司令官からご質問に対する回答があったわけですがけれども、それでよろしいでしょうか。

加藤委員

昨年1月の3日と思いましたが結局死亡の傷害事件。その後4月7日に発生した米海軍大尉の飲酒運転による逃亡。こういった事件、また7月5日の馬堀のアパートでの19歳の水兵。このようにどの事件も大体飲酒による事件なんですね。正常であればそういうことは恐らく事件は起きないと思うんですよ。ですから12月2日の事件だって結局否認してる、自分でやったかどうか全然分からないということ。この点をよく重視しているいろいろ教育もやっていただかないと困りますけれども。飲酒をする、そのために気持ちが全然普段の性格じゃなくてがらっと変わっちゃうと、これどうしても何とかしてもらわないとこういう事件は収まらないと思うんです。ほとんどが飲んでハメをはずしちゃった事件が多いんですからね、この点は重視していただきたいと思います。

委員長：杉本副市長

今、加藤委員からは今回の事件も含めですね4月7日の事件、さらには7月5日の事件、すべてこれが飲酒がらみだということで大変飲酒をすることによって性格が変わってしまったための事件ではないかと。普段お酒を飲まなければこういったことがほとんど起こっていないということで、特に飲酒に対する対策について特別な対策を今後取っていくのかどうか。こういう趣旨だと思いますのでその辺についてお答えできればいただきたいと思います。質問の趣旨はそういうことでよろしいですね。

ウィード米海軍横須賀基地司令官

この点につきましては現在どういった飲酒に対してどういったことをしたらいいだろうかということで、ありとあらゆる方策を練っているところでありまして、アルコール、飲酒に対して各自がどうやったら責任のある飲酒ができるかという手段を今考えております。

委員長：杉本副市長

今、どういった方策がいいのかということで米軍基地内で今検討していると、こういったところでございます。私も実は同感の意見でございまして、やはり時間的にも深夜の12時を過ぎた事件ということで、だいたい明朝というのが多いわけでございますので、そういった殺人事件があった時には飲酒の門限の時間等とも一時規制を強化した経過がありますので、できればその辺も踏まえて検討していただきたいと思いますがよろしくお願ひしたいと思ひます。

ウィード米海軍横須賀基地司令官

よくご懸念の気持ちはこちらでも理解しておりますので、真剣に受け止めできるだけよい方向に行くように考えております。

川口委員

本町の川口です。今の件に関連してちょっとお聞きしたいんですけども、ただ今本町地域では飲酒時間の規制というのが行われていると思うんですけども、これは確か午前2時ということで店に入っただけの飲酒を停止すると聞いておりますけれども、この時間の変更等について何か検討されておるかどうかわかりませんが、ちょっとお聞きしたいと思うのですが。

ウィード米海軍横須賀基地司令官

飲酒に対して制限をするというのはできるだけ最後の手段にしたいと考えております。と申しますのは、こちらで目の届く所での飲酒規制はできても目の届かない所でまた新たな問題を犯しかねない、ということでどういった手段がいいのかまだこちらで暗中模索中です。

上田委員

この事件が12月2日ということで、今川口副委員長がお話になりましたけれども、一緒にその3日前、11月30日にこの下町地区のパトロールを夜中にやりました。その日は町内会の者、多くの者が出まして、また基地の副司令官、憲兵隊、各行政の方にも参加していただいてやったわけですけども、ちょうど横須賀の中心市街地が歩行禁煙になって最初のパトロールだった。また夜中であるということ、それから本町地区だけじゃなくてYデッキまですべての清掃活動含めて挨拶運動をやるということでやっているわけですけども、終わった時にみんなで話したことは、非常にタバコの吸殻が減って平穩でいいなというような感想を一人一人からも聞いたような状況のそのすぐ後だったわけですね。そういう意味では非常にみなさんマナーを守ってくれていいのかなと思ってたんですけども、こういう事件が起きてしまったということで非常に残念ですけども、ただ私は個人的なことを言えばこの米軍基地というのは横須賀市の一番大きな町内会じゃないかと思っているのです。こんな大きな町内会が横須賀市にあるわけだから一緒に我々の町内会というのは隣接していますから同じ町内会活動の一環の中でこの安心・安全な街ができればなど、ということでこのパトロールもずっと続けてきているわけです。そんな中で我々も自分達の街は自分達で守ろうという中で協力してもらってやっているわけですから、他の地域においてもそういう活動にさっき司令官から、他の地区についても今後パトロールを強化していきたいというようなご意見がでましたけども、是非米軍だけがやるんじゃなくて、その地元の人達と一緒にパトロール等をやっていただくと、この効果がずっと出てくるんじゃないかと思います。何も無いところが今後事件が起きなければよりいいわけですけども、そういうことを1つ踏まえてやっていただきたいと思います。

それから今日もたまたま神奈川新聞見てましたら、米軍の人達が障害者の人のディスコの大会に参加していただいて非常に喜ばれていると、これは米軍にも多くの善良な人が

いるわけですね。そんな中で心無い1人の者の犯罪が全部の努力を無にしてしまうという非常に残念なことなんですけれども、そういうことのないように是非これからもやっていただきたいと思います。

それから1つできましたらお願いですけれども、このパトロール今毎月のようにやっております。夜中のパトロールで出て来る人皆さん大変だと思うんですけれども副司令官等、憲兵隊も出ていただけてますが、私はその中に本当の若い兵隊さんが制服を着て我々と同じジャケットを着てその中に入ってもらっていることによって、例えばその日はフリーでお酒を飲んだり楽しんでいる同じ若い兵隊さんが俺達の仲間と一緒にやっているという姿を是非見せさせていただければありがたいと、このことが1つお願いとしてあります。是非その時には制服を着て来ていただきたいということです。以上です。

ウィード米海軍横須賀基地司令官

素晴らしいご提案をいただきましてありがとうございます。若い兵隊達にパトロールに参加させることによってこの試みがより成功するということを確認しておりますので是非次回にはそのようにさせていただきたいと思います。

委員長：杉本副市長

他に、はいどうぞ。

上原委員

若松町の上原と申します。このいただいた資料の参考のところに2番目にパートナーシップというのが出ておりますが、ここでは20歳以下の米海軍構成員は午後9時以降は基地外では必ずパートナーと共に行動するとなっておりますが、今回の場合は30歳の方が事件を起こされたわけなんですけれども、できるだけ若い方、外出する方は何人かで行動されればこういう事件が起きないで済むんでないかと考えておりますので、是非その辺を今後検討していただきたいと思います。

ウィード米海軍横須賀基地司令官

ご意見ありがとうございました。素晴らしいご意見でまったくそのとおりだと思います。このグループで行動するというのは各船によっても独自の決まりごとで規制しているものなんですけれども、確かにグループで行動させることによってこのような事件を防ぐ効果があると私も思いますし、実際に今回の事件を踏まえて特別な話し合いの機会を持って1人1人と自分で話し合ってみるとその彼ら自身が自覚を持って外に出たときに1人で行動している者がいると注意をしたりという行動に発展していておりますので今回の事件によって彼らが非常に落胆をして外に出へ行かないようになるというよりは、今後ますます横須賀基地がとても大きな町内会だとおっしゃっていただきましたけれども、その1つとし

てと一緒に皆さんと一緒にやっていきたいと思っております。

委員長：杉本副市長

他に、ご質問等あれば。はいどうぞ。

橋本委員

先ほど被害者の方の補償の関係についてのご質問があったので。一般論として申し上げますけれども、基本的には公務外、公務上のことを含めて日米間での取り決めがあります。その取り決めに基づいて迅速にご迷惑がかからないように対応していきたいと思っております。基本的にはこういう事件・事故が起きるのは、やはり一番求められるのは未然防止だと思うんです。米軍が今外出規制等をやっていると聞いておるんですけれども、こういうものをさらに強化していただいて、未然防止に努めていただきたいと思いますと考えております。

委員長：杉本副市長

ありがとうございます。

島田委員

大滝町の島田でございます。今回の事件を起こした兵隊さんの場合はお酒をベースの中で召し上がった、それとも横須賀市内のどの辺で。

ウィード米海軍横須賀基地司令官

残念ながらわかりません。多分、外で飲んでいたのでは。

島田委員

昔はよく川口さんの本町のドブ板通りが多かったんですけれども、市内日の出町というところとしかすると平成町の向こうの我々が考えていないような所で召し上がっていたのかもしれないけれども、これに伴って一番懸念させるのは米軍の方で、また横須賀警察の方でパトロールの強化といいますか、パトロールすることはいいのですがそれに対する市内をなんか抑圧するような感じのパトロールのようなものができると、日米間の関係がよいような感じに向かわないような感じもありますので、司令官の方もどんなお考えか。こういうふうにだんだん被害が基地の周辺からなんか横須賀の普通なら平和な住宅街の所までこの前も事件が起きてますので、そういう面でもパトロールに対するお考えがもしあれば、私の方としてはそういうものがあまりないようなことを期待しているんですけれども。

ウィード米海軍横須賀基地司令官

全くそのとおり、おっしゃるとおりだと思います。パトロールをするということによっ

て米軍が日本の社会を押さえているんだ、というようなことは決してしたくないと思っております。今私が考えていることはアメリカの兵隊達が基地の外に住むとしたらどこに住ませたらいいだろうかというようなことを考えております。どこに住もうかというよりどのようにしてうまく住めるかという方策を、そして今せっかくこうして地域の代表の皆さん達が来てくださっているのです、その基地の外に住んでいるアメリカ人達が今度は皆さんと直にお話し合いをして、お互いに協力し合ってやっていくためにはどうしたらよろしいでしょうかと、むしろ教えていただきたい。大体地域の町内会長さんみたいな立場にある方はその地域にはどういう人が住んでいてどういう行動癖があるようなことはきっと把握していらっしゃると思いますので、問題を起こす前に解決していけることを願っております。米軍の中では湘南山手と呼んでおりますけれども桜木坂っていうんですか吉井地区の方に今民間賃貸住宅制度によってアメリカ人の住宅というわけではありませんけれども、かなり的人数のアメリカ人があそこの地区に住むこととなりますが、その場合にはできるだけ位が上の人間を住ませせてそして日本での生活というものを彼らがまずある程度の指導的立場にある人間に日本で住む生活する上での知恵をつけて、そして若い者にその知恵を授けていくということもしていきたいと考えております。いろいろなことをやろうと試みても決してこれで完全ということはありませんので今後も皆さんにいろいろと教えていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

島田委員

ただいま司令官から適切なお返答をいただいたんですが、先ほども上田さんからお話しがありました市内に住む米軍の方が一番溶け込んでいただくのは地域の町内会にまず入っていただくように、市民生活課とかを通していただければその地域の町会長さんなんかもおいでになるので、そこで地域の盆踊りだとか餅つき大会とかご近所のお付き合いがしやすくなると思いますので、町内会も1つお考えいただければと思います。以上です。

ウィード米海軍横須賀基地司令官

そうですね、どうもありがとうございました。

委員長：杉本副市長

よろしいですか。その他は。

大体よろしいでしょうか。今いろいろと司令官の説明をいたしまして質問をいただきましたけれども、それではこの件につきましてはこの程度で終了したいと思います。今いろいろ委員からご提案なりご質問等いただきまして、その質問等に対しまして、ウィード司令官から大変前向きな答弁をいただきまして、是非今日のこの協議会で出ました要望また意見等につきましては、すぐに実行できるものは早速実行に移していただくとともに検討事項につきましては速やかな検討をお願いし、なるべく早期に実施できるようにこの協議

会としては要請をしていきたいと考えておりますので、是非積極的な対応をお願いしたいと思っております。それでは今話をいたしましたけれどもこの事件に対する、今司令官に対する説明につきましてはこれで終了したいと思っております。

今日の大きな議題はその点にあったわけでございますけれども、まだ時間もあるようでございますので、せっかくこの機会ですので委員の皆様からまたご意見ご要望がございましたらご発言をいただきたいと思っております。またこの周辺地区の安全対策についての質問でも結構でございますので、いろいろな面でそれぞれが地域の皆様が抱えている問題等々があって、是非この機会に聞いておきたい、こういったことを要請していきたい等々がございましたらご発言をいただければと思っておりますけれどもいかがでしょうか。

加藤委員

米が浜ですけれども、今年でしたね、スーパー防犯灯。あれから全然使ったというか事件もなく本当によかったなあと思っていた矢先だったんですけれども、他の地区も使ったというのはないんですか。

委員長：杉本副市長

私が把握している範囲では今のところ1件もないと聞いております。むしろ使われない方がベターだということでそれだけ抑止効果があるのかなということの証のようなものと思っております。私どもとすれば使われないことがベターでございますのでそういったことを今後も期待していきたいと思っております。

上田委員

今ですね、これ前回の時もあったんですけれども今後とも住民というか市内に住んでらっしゃる方々に米軍だけではない方もいらっしゃると思うんですけれども、ゴミの出し方の問題はどうしてもなかなか地域毎に違うこと等ありまして、なかなか出す本人のどこまで伝わっていない部分が結構ありそうです。これは米軍だけをお願いしても難しいと思えますし、確か不動産屋さんの方にもそういう物を必ず引越しの折にはお渡しいただくようになっていますけれども、どうしても場所によってはトラブルが起きている可能性があるということでこれもできましたら1つ徹底していただきたい。

服部委員代理富岡氏

路上禁煙地区での喫煙ですが、この禁止の看板で、英語の看板は確か見てないと思うんですけどありますか。

委員長：杉本副市長

これはですね、路上禁煙のマークがありますけれどもそのマークの下に「No Smoking」

ということも書いてあります。それは看板を設置する時は逆に意識をして設置をしたつもりでございます。もし何かまた機会あってこういうところがないじゃないかという指摘があったら別途いただきたいと思えます。

いかがでしょうか。他にはよろしいですか。それでは時間がありますけれどもご意見もないようでございますので、今日皆様からいただいた要望または意見等々につきましては今日直にウィード司令官に来ていただき、また質問を聞いていただき答えもいただきましたので、是非答えた内容につきましては早急なる対策を立ててまた我々に目に見えるような形でお示しを願えればと思っておりますので今後ともよろしくお願ひしたいと思えます。

それではこれもちまして第5回の基地周辺地区安全対策協議会を閉会とさせていただきます。本日は大変お忙しい中ありがとうございました。事務局から何かございますか。

司会：秋本基地対策課長

急な開会でしたので本日欠席の委員の皆様には別途資料をお送りするとともに会議の内容について事務局の方で報告させていただきます。

それと傍聴の方、傍聴章を事務局の方にお返しく下さい。

市役所北口駐車場をご利用の方、駐車券をお渡しいたしますので、事務局の方にお申し出ください。以上でございます。本日はどうもありがとうございました。